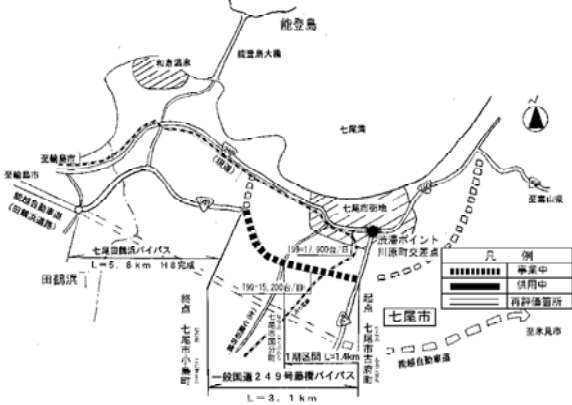


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

| | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|-------|-------|
| 事業名 | 一般国道249号 <small>ふじはし</small> 藤橋バイパス | 事業区分 | 改築 | 事業主体 | 石川県 |
| 起終点 | <small>ななおしふるこまち こしままち</small> 石川県七尾市古府町から小島町 | 延長 | 3.1 km | | |
| 事業概要 | 七尾市街地の交通渋滞の解消を図り、七尾市の東西地域を一体化し地域間交流の強化と、七尾市街地の地域活性化を図るために、七尾市古府町から小島町に至る延長3.1 kmのバイパス整備事業である。 | | | | |
| H8年度事業化 | H7年度都市計画決定 (H8年度変更) | H11年度用地着手 | H12年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 115億円 | 事業進捗率 | 40% | 供用済延長 | 0km |
| 計画交通量 | 14,000台/日 | | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 5.2 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 55/105 億円 〔事業費：51/101億円 維持管理費：4/4億円〕 | 総便益 (残事業)/(事業全体) 289/289億円 〔走行時間短縮便益：264/264億円 走行費用減少便益：19/19億円 交通事故減少便益：6/6億円〕 | 基準年 | 平成17年 |
| 感度分析の結果 | 実施していない | | | | |
| 事業の効果等 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路を形成する） ・個性ある地域の形成（JR七尾線により東西に分断されている市街地の一体化を図る） 他7件に該当 | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 地元関係団体より早期整備を望む要望多数有り | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | 能越自動車道の七尾東IC | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 現在までに国道159号から（主）七尾羽咋線の間を優先的に整備を進め、御祓川の橋梁工事等を進めている。今後はJR七尾線の交差部の工事等を進めて行く予定。 | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 本事業は大規模バイパスであるため、複数の町会にまたがり地権者や補償物件が多くあったが、これまでに優先区間の用地買収は完了し、今後工事の進捗を図っていく予定。 | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | JR七尾線の交差部において歩道の幅員を減少した。 | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 整備効果が高く、事業継続と判断 | | | | |
| 事業概要図 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> | | | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。